

特産品ショップあomorい三味 <http://www.aomorizanmai.com>

青森県 商工会報

発行：青森県商工会連合会
編集：広報編集委員会
青森市新町 2 丁目 8-26
県火災共済会館 5F
TEL 017-734-3394
FAX 017-773-7249

全国統一キャッチフレーズ ～商工会は 行きます 聞きます 提案します～

商工会法施行50周年記念式典青森県大会開催！



去る一〇月二十九日(金)、ホテル青森において、県内各商工会の役員、会員、青年部、女性部員、約四三〇名が一堂に会し、商工会法施行五〇周年を記念して「商工会は行きます！聞きます！提案します！」の大会スローガンのもと、記念式典が開催された。

同青森県大会は、前山県連副会長の宣言で開会、物故者追悼、国歌斉唱に続き、今県連会長より「商工会は、地域の特色を活かした各種事業を展開し、地域を元気にする幅広い活動を通じて、地域に貢献していくことが不可欠である」旨挨拶があった。



挨拶する今会長

続いて、長年にわたって商工会運営並びに経営改善普及事業へ尽力された、役員員功労者等へ東北経済産業局長表彰、青森県知事表彰、青森県連合会長表彰が行われ、各受賞者へ表彰状が贈呈された。

来賓祝辞は豊國浩治東北経済産業局長、(代理・佐藤寛産業部長)、三村申吾青森県知事、長尾忠行青森県議会議長(代理・中谷純逸副議長)、鹿内博市長会長(代理・大川喜代治副会長)、逢坂雄一町村会長(代理・吉田豊副会長)の5名から祝辞があり、商工会のこれまでの取組みに対する評価とともに、今後の更なる地域経済発展への貢献について期待を述べられた。

その後、被表彰者を代表し齋藤茂人氏(おいらせ町)より「ふるさとに生まれ育ったことを誇りにしながら、商工会事業の発展と、地域経済振興のために、今後とも精励する。」旨謝辞があった。



祝辞を述べる三村知事

最後に、大江県連副会長より「青森県内四三商工会一三〇〇〇名の商工会員並びに青年部員・女性部員の英知と総力を結集し地域が当面する重要課題解決に向け」

- ◇巡回訪問の一層の推進・強化
- ◇会員サービス向上のための各種事業の推進
- ◇地域コミュニティ維持活動への支援強化
- ◇商工会活動の積極的アピール

以上、の宣言を行い、青森県大会は終了した。続く、祝賀会では、藤崎町出身の作曲家小山内たけともさんによる、朗読とピアノによる「津軽の四季」のコンサートが行われ、和やかな雰囲気のまま、祝賀会は終了した。

今回受賞された主な被表彰者については次のとおり
東北経済産業局長表彰

(一) 役員等功労者

・役員(3名)

神馬 吉藏(深浦町商工会・会長)

大江 和夫(階上町商工会・会長)

齋藤 茂人(おいらせ町商工会・会長)

・経営指導員等(2名)

久保沢 金松(田子町商工会・経営指導員)

員)

苦米地 勝(連合会・商工会指導員)

・補助員(2名)

高木 靖子(藤崎町商工会・補助員)

西塚 友子(南部町商工会・補助員)

(二) 青年部・女性部功労者

・青年部(1名)

大槻 淳(東通村商工会・監査委員)



東北経済産業局長表彰授与の様子

青森県知事表彰

(一) 役員等功労者

・役員(3名)

釜淵 嘉内(田子町商工会・会長)

網野 榮一郎(鱒ヶ沢町商工会・会長)

上長根 浅吉(六ヶ所村商工会・会長)

・経営指導員等(2名)

福田 敬一(階上町商工会・経営指導員)

山本 俊(連合会・専門経営指導員)

・補助員(2名)

下久保ミワ子(和田湖商工会・補助員)

藤田美穂子(平川市商工会・補助員)

青森県商工会連合会長表彰 234名

感謝状

38名



謝辞を読み上げる齋藤会長(おいらせ町)



祝賀会の様子



「津軽の四季」コンサートの様子

チャレンジショップ青森県大会開催！ ～北五ブロック代表金木町商店が県知事賞に輝く！～

去る一〇月二四日（日）青森市アスパム1階イベントホールにおいて、チャレンジショップ青森県大会が開催された。チャレンジショップ事業は青森県商工会青年部連合会において、平成一九年度から実施している事業で早期の若手後継者育成を目的として小中学生を対象に実施している事業で本年度は、県内7ブロックの代表チームが事前に各地で事業計画を立て、実践販売をアスパムで行った。



青森県知事賞に輝いた金木町商店

販売開始時間の一時になると各チームから一斉に「いらっしやいませ〜」の聲が響きわたり、一四時閉店までに、熱心に商品説明をする子供や、会場の外に出て、お店のPRをする子供など、会場内は熱気にあふれていた。

販売終了時間が近づくにつれ、完売するチームも続出し、完売したチームのメンバーは、達成感に満ち溢れていた。一方、売れ残ったチームもあり、悔し涙をみせるメンバーもあった。販売終了後、売上、利益、店舗装飾、接客態度の4つの審査基準から6人の審査委員による審査の結果、最優秀チームとして北五ブロック代表の「金木町商店」が選ばれた。



社長に意気ごみを聞いてみよう！

青森県知事賞

北五ブロック代表

金木町商店（金木小学校）

青森県商工会連合会長賞

上十三ブロック代表

ニコスマメイプル（六戸・開知小学校）

青森県商工会青年部連合会長賞

東部ブロック代表

大川平荒馬（今別小学校・中学校）

西・つブロック代表

お肉のさくちゃん（木造中学校）

中南ブロック代表

金田屋（金田小学校）

むつ下北ブロック代表

下北ラーメン株式会社（東通小学校）

三八ブロック代表

ライジング・スター（田子小学校）



いい品物ありますよー



いくらもうかった？



講評



社長から決算報告

第17回東北六県・北海道商工会青年部員交流研修会 主張発表 東北・北海道ブロック大会

大槻佳幸君惜しくも敢闘賞！

平成二十二年九月九日（木）、第十七回東北六県・北海道商工会青年部員交流研修会並びに主張発表東北・北海道ブロック大会が宮城県仙台市「ホテルメトロポリタン仙台」にて開催され、総勢三四名、青森県からは二十二名が参加した。研修会では、東北六県・北海道商工会青年部連合会連絡協議会会長大槻淳（青森県青連会長）より開会挨拶があり、その後主張発表東北・北海道ブロック大会が行われた。



熱弁をふるう大槻君

青森県青連からは、東通村商工会青年部の大槻佳幸君が「青年部活動に参加してぐずぐずばかりかさい！ひがしどおり〜」と題して発表した。出だしから東通村出身の歌手「ねるず」の歌の一節でインパクトを与えた。自分が、偉大な青年部の先輩たちによって、青年部活動に取り組んでいく姿や青年部活動を通じて自身の商売においても地産地消にこだわったものを提供するようになったこと、自分のふるさとが東通村であることを誇りを持てるようになったことを表現力豊かに発表した。結果は僅差ながら惜しくも敢闘賞となり、念願であった全国大会への出場はかなわなかった。最優秀賞は山形県代表の渡邊拓磨君が、優秀賞には福島県代表の橘弦一郎君が選ばれ、山形県代表の渡邊拓磨君が東北六県・北海道ブロックの代表となった。講演では、「B級グルメで地域おこし！」と題し、油麩井の会会長の海老名康和氏からB級グルメの油麩井によって地域がどう変わっていったのかを話され、単にブームといわれてもものつたもの勝ち、効果は絶大ということであった。研修終了後は同会場において交流会が行われ、他県の青年部員と交流を深めた。



敢闘賞授与！！



受賞喜ぶ関係者たち

広域指導センター通信

県内の各広域指導センター事業並びに各管内の地域の情報をお届けします。

<西部広域指導センター>

住宅エコポイント制度講習会開催

9月21・22・24（3日間）経済危機を生き抜く中小・小規模企業支援強化事業として、つがる市・板柳町・金木（三地区）を会場に「住宅エコポイント制度に関する業種別講習会」が開催され、約44名が参加した。青森県建築士会北五支部の1級建築士4名の方を講師に迎え、経済支援策として創設された、国と青森県版エコポイント制度について、新築・リフォーム・バリアフリー毎のポイントを獲得するためには、どのように対応すべきか、具体的手順、工事をする際の注意点について事例を交えながら、説明された。また、国のエコポイント制度は今年12月31日着工分までと限られていたが景気回復の為期間を1年間延長することになったと説明。

今回の受講を契機に、お客様に対し制度を上手に活用することを説明し、業績の確保に繋げていただきたいと結んだ。



<南部広域指導センター>

「あなたの夢を叶える4日間」創業塾開催

バーデパーク「ウェルネスホール」（南部町福地地区）において、9月4日から4日間短期集中セミナー「創業塾」を開催した。専門家講師に、ジャイロ総合コンサルティング大木・綿貫・渋谷講師を招き、創業における心構えから開店までのノウハウを熱く語られ、受講者18名は真剣な眼差しで講師の話に聞き入っていた。成功事例を真似るのではなく、その考え方を学び自身のオリジナルな事業を創造しなければならないと力説され、経済危機といわれる現状ではあるが、今がビジネスチャンスでもある。アイデアは無心の時に生まれ、トイレ・寝室・車中にはメモ用紙をおいて書き記すこと等、日常気づきの行動をすることの重要性を説いていた。またチラシ作製の留意点・HPの開設・ブログ・ツイッターの活用も有効であり、その手法についても紹介された。途中ささやかな懇親会を企画、自分の抱えている課題について意見やアドバイスをもらうなど和やかな雰囲気の中で貴重な時間を過ごした。最終日を迎え「受講された皆さんは、これから先起業しようとした時様々な課題・問題点が発生すると思います。もちろん決断するのは自分ですが、同じ志をもつ仲間と出会えたこと、このネットワークも大きな財産になります。また関係機関も大いに活用いただき起業を実現してほしい」と結んだ。



11月・12月の講習会等のお知らせ

【転業チャレンジ相談会】

従来の事業にかえて、新事業展開・創業・事業再生・再チャレンジ等の「転業」に取り組まれる方を対象に「転業チャレンジ相談会」を県内各地で開催いたします。

支援制度の紹介や実際に新事業展開された県内事業者の事例紹介、専門家による個別相談を実施いたします。

会場	日時	場所	申込締切日
つがる会場	11月22日(月)	つがる市生涯学習センター「松の館」	11月19日(金)
むつ会場	12月1日(水)	むつ下北観光物産展「まさかりプラザ」	11月29日(金)

*弘前・青森・八戸会場は23年1月・2月の開催となります。

お問い合わせ先

青森県中小企業応援センター(コンソーシアム)代表法人:21あおもり産業総合支援センター

構成法人:青森県商工会連合会、青い森信用金庫

電話 017-777-4066 FAX017-721-2514(21あおもり産業総合支援センター内)

【農商工マッチング交流会】

農商工連携による食産業の充実・強化を図るため、生産者・食品製造業者と流通業者との交流を目的とした「農商工マッチング交流会」を下記のとおり開催いたします。

日時	場所	申込締切日
11月29日(月)10:00~14:30	青森市:ラ・プラス青い森2階「カメラア」	11月19日(金)

お問い合わせ先

青森県農林水産部総合販売戦略課 ブランド推進グループ 藤本

電話 017-734-9573 FAX017-734-8158

【レッツ・トーク!あおもり 2010 ~考えよう未来のエネルギー~】

一般の方を対象に、核融合を含む原子力を中心としたエネルギーについて、フリーキャスター/事業創造大学院大学客員教授の伊藤聡子氏による講演や日本原子力研究開発機構による事業紹介・展示等を行います。エネルギーの現状を身近に感じ、学び考えるきっかけづくりの場として、多くの皆様に参加いただけますようご案内いたします。

日時	場所	申込締切日
12月21日(火)15:00~17:00	青森市:ホテル青森3階「孔雀の間」	12月16日(木)

基調講演:伊藤 聡子氏(フリーキャスター/事業創造大学院大学客員教授)

事業紹介:(独)日本原子力研究開発機構

参加料:無料

定員:200名

申込み:表題を「12/21 エネルギーイベント申込み」とし、ご所属、氏名、電話番号を明記のうえ、下記事務局までFAX又は電子メールにてお申し込みください。

事務局:青森県ITER計画推進会議(青森商工会議所 総務企画課)TEL017-734-1311 FAX017-775-3567 又は青森県エネルギー総合対策局 ITER支援室 TEL017-734-9725 FAX017-734-8213

電子メール iter-shien@pref.aomori.lg.jp

詳細:ホームページ <http://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/energy/iter-shien/>



伊藤聡子氏

事業主の皆さんへ(お知らせ)

11月は「**労働時間適正化キャンペーン**」期間です。

労使の協力で労働時間を適正化しましょう。

過重労働による健康障害を防止するためには

☆時間外・休日労働時間の削減

労使双方で限度基準に適合した適正な協定を締結しましょう！！

☆労働者の健康管理に係る措置の徹底

長時間労働を実施した労働者に対する面接指導等を実施しましょう！
健康管理体制の整備、健康診断を適切に実施しましょう！

賃金不払い残業を解消するために

労働時間適正把握基準を遵守しましょう！
適正に労働時間の管理を行うためのシステムを整備しましょう！

お問い合わせ 青森労働局 労働基準部 監督課 TEL 017-734-4112

労働者数101人以上の企業は一般事業主行動計画の策定・届出等が必要です。

次世代育成支援対策推進法(平成15年制定)に基づき、現在、常時使用する労働者数が301人以上の事業主に義務付けられている「一般事業主行動計画」の作成・届出及び公表と従業員への周知については、法の改正により来年4月1日からは、常時雇用する労働者が101人以上の事業主に拡大し義務付けられることとなります。

お問い合わせ 青森労働局 雇用均等室 TEL 017-734-4211